

河辺林通信

建部北町の森から

2024年 10月号 No.318

↑ヒガンバナ、毎年お彼岸になると咲く花。今年も例外なく咲いています。

土壤調査プロジェクトに参加しました！

京都大学フィールド科学教育研究センターによる、「里山の土壤を知るプロジェクト2024～市民参加型の全国里山土壤調査～」に参加しました。調査の目的は、広域で里山土壤の現状評価と、広葉樹二次林の伐採影響評価です。土壤環境、養分、微生物を調査することで、今後の里山を考える1つの材料になるそうです。

調査は、普段から河辺いきものの森の植生調査でお世話になっている森小夜子さんにご協力いただきました。これまでの保全活動を反映するような結果が得られる嬉しく思います。



↑土壤調査
プロジェクトHP
←下層植生調査。
1m×1mの枠内の植物の種類と被度を調べます。

保全活動1000回にむけて…

今回は、2002年から2006年編。毎年850人～950人が活動に参加してくださいました。平均すると第二土曜日は45人、平日作業日が25人程度といったところでしょうか。ピカピカに整備されたセンターまわりや観察路ですが、林内では木や竹の伐採は変わらず行い、明るくなったので草刈りなどの作業が多くなりました。楽しみの一つお昼ご飯も、台所スペースが広がったことや、魚や鳥などの差し入れもあってよりにぎやかな時間になりました。朝一の観察会も20人越えだったようです！



どんぐりの季節、秋の校外学習の季節になりました

秋になり、どんぐりが落ちる季節になりました。毎年、河辺いきものの森では8月末頃からアベマキの木のどんぐりがたくさん落ち始めます。今年もそろそろだと思い森を歩いていたのですが、9月を過ぎても落ちてこず。。例年より2週間ほど遅れてポロッ、ポロッと控えめに落ちてきました。いつもとは違う様子を心配したスタッフが双眼鏡を持って森を回り、どんぐりの木を観察したところ、実付きが少ない木もたくさん見られたとのこと。はっきりとした原因是分かりませんが、今年はどんぐりの数が例年に比べてすくないのは確か。

毎年、秋の校外学習のため小学1年生が約2,000人、同森を訪れます。体験学習の中では、どんぐり拾いを楽しみ、拾ったどんぐりで工作をします。



どんぐりは森にすむいきものたちの大切な食べ物なので、どんぐり拾いはいきものたちのために一人5個までと決めています。ですが、今年に限っては各学校の先生方に相談し、一人3個に変更させていただいております。どの先生方もいきものたちのためにと快くご了承いただき、子どもたちにもそのように説明をして、数は少ないながらも楽しくどんぐりを拾い、工作を楽しんでいただいている。

今年は存分にどんぐり拾いを楽しんでいただくことができましたが、森で生きるいきものたちに目を向け、自然の変化といきものたちの命のつながりを実感していただける学習となっているのではないかと思っております。自然やいきものに対する皆さまの温かな心に感謝する出来事となりました。



●9月の作業だより

第2土曜日（9月14日）

13名での活動となりました。

- ①「ヤブラン群生地の整備隊」のおかげで、たくさんのキレイなヤブランを見ることができます。子どもたちも懸命に保全活動をしてくれました。キレイなヤブランを見に来てくださいね！
②「ナラ枯れ伐採準備隊」は、後日伐採予定の周囲を、草刈りいただきました。これで準備万端です！！



散策路沿いにもヤブラン！

ヤブランの群生地にきてね！



草の海と戦ってきます！→とってもスッキリしました！

第3木曜日（9月18日）

9名での活動となりました。

保護植物のマーク付け・刈り払い機とカマでの草刈りをしました。



かわいいキノコ発見☆



木に登っての枝払い

10月の定例活動日

| | |
|--------------|--|
| 10/12 (土) | ・観察会（9:00~10:00） ・林内整備など (10:00~12:00) |
|--------------|--|

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 10/17 (木) | ・林内整備など (9:00~15:00) お昼はお弁当あり |
|--------------|-------------------------------------|

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 10/23 (水) | ・林内整備など (9:00~15:00) お昼はお弁当あり |
|--------------|-------------------------------------|

※10月もまだ暑い日が続きます。
熱中症対策をしながらの作業になります。

天候や気温などの状況によっては、
中止や時間短縮になる場合もございます。
中止の場合は、ホームページやFBでお知らせします。

●9月の観察会

今月は、秋によく見られるスズメバチのお話と、中秋の名月が近かったのでススキとその下に咲くナンバンギセルの観察を行いました。

スズメバチの話では、スズメバチの種類や巣の大きさなどの説明にくわえて、布引の森からお借りしたスズメバチの標本を観察しました。保全活動中も林内に入ることもあるため、スズメバチの巣を発見することが多々あります。巣に近づかないためにも「気配を感じる」ことが大切だと再認識しました。くさはら広場では、ススキがたくさん見られます。そのススキの根元にはススキから栄養をもらっている「ナンバンギセル」が可愛らしい花を咲かせていました。他にもススキで遊んだり、葉っぱで羽化したバッタを発見したりして楽しみました。



↑オオスズメバチは標本でも迫力あります！



↑ススキの葉の上や根元を観察！

遊林会 最新情報 発信中！

保全活動の様子やイベント情報など、最新情報を発信しています！ぜひフォローやお友達登録してくださいね！

●モリイコ！のこどもたち

前回から、なんと二ヶ月振りとなるモリイコ！。ほんと～に久しぶりの再会にみんな嬉しそうでした。さて、第四回のテーマは「工作」。森で拾ったドングリを使って、コマ、やじろべえ、ドングリカーなどを作り、みんなで遊びました。そして、保全活動で伐った木の枝をノコギリで切り、表面をヤスリがけしてネックレスも作りました。9月にインターで10日間、森に来ていた大学生の山田さん（写真右）。振り返って、一番の思い出はモリイコ！でのコマ遊びだったそうです。短い間でしたがすぐに森の仕事にもなれ、こども達と積極的に関わってくれていたのが印象的でした。



↑工夫が凝らされたドングリカーラたち

詳しい活動内容は
森の歳時記へ！



編集後記

中秋の名月にはお月様ご覧になられましたか？その時はまだ暑かったです。お彼岸をすぎて暑苦しさがなくなりましたが、まだ日中は半袖で過ごせます。平年がどんな気温だっのか…もう少し涼しかったでしょうか。先日推しのハラビロカマキリに指をまれてしまいました。暑くて気がたっているのか、めちゃくちゃ威嚇されています。敵認定なのか？なぜだ。（山北）



<http://www.yurinkai.org/>



@satoyama.yurinkai



@48500qnn

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきもの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp